授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　東中学校　森田　明子

【単元名】古典に学ぶ　「枕草子」（第２学年）

【指導のポイント】

本単元の学習目標は、「自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える」ことである。

枕草子・第一段には、筆者の考える四季折々の趣ある時間帯について、それぞれ具体的な事物に触れながら列挙されている。歯切れの良い文章の中に、作者の鋭い観察眼が光るこの文章を土台として、生徒それぞれが考える、四季折々に心動かされるもの・ことを短い文章にまとめた。また、生徒たちの書いた作品を教材として取り上げ、表現の工夫について考える際に教育ソフト「スクールタクト」を使用し、自分たちで考えた答えをタブレットPCで交流することができるようにした。お互いの作品を読むことで様々なものの見方や感じ方を知り、表現の幅を広げることができるよう工夫した。

【学習の流れ】

１　枕草子・第一段を読み、筆者のものの見方や感じ方について考える。

２　自分なりのテーマを一つ決め、四季折々に心動かされるもの、四季を連想させる事柄について、具体的な事物に触れながら文章にまとめる。

（テーマ例）植物・動物・食べ物・色・行事　など

３　生徒の書いた作文を教材として取り上げ、本文を穴埋めのクイズ形式にして提示する。

　　本文の（　　　）にどのような表現が入るかを考えることで、お互いの表現の面白さを味わう。

（生徒作品例）テーマ：楽器

　春は（　　①　　）。ダブルリードのあたたかく包みこむような音色が春を感じさせる。

また、明るい音が新学期を思わせる。

夏は（　　②　　）。

金管楽器の大きく迫力のある音と、スライドを動かす大きな動作が、暑くて大変な夏を思わせる。

秋は（　　③　　）。

鍵盤楽器の優しい響きやドラムの迫力のある音、様々な楽器が、色とりどりの紅葉を思わせる。

冬は（　　④　　）。

（　　④　　）のあたたかみのある、厚い音色。あたたかい音が私を包んでくれる。

　　　　　　　　　　　《答え》①オーボエ　②トロンボーン　③パーカッション　④クラリネット

【振り返り】

生徒が選んだテーマには動植物など自然に関するもの、色、物、学校行事など様々なものがあった。テーマを決めることに時間をとられ、なかなか書き始めることができない生徒もいた。そのような生徒には、比較的書きやすいと思われるテーマを提示するようにした。同じテーマを選んだ生徒でも、表現に幅があり、他の生徒が書いた文章を読み味わうことで、色々なものの見方や考え方を知ることにつながったのではないか。また、生徒が書いた文章を取り上げることで、学習に対する興味関心を引き出し、考える意欲を高めることにつながると考えている。クイズ形式にすること、タブレットPCを使って答えを入力することで誰もが取り組みやすい雰囲気を作るよう心がけた。これからも、生徒同士が書くことの面白さを共有できる授業を工夫していきたい。